

「体を張ってでも押しとどめておけば…」。イラクで拘束された香田証生さんの遺体が発見されたとの情報に、イラク入りの直前の香田さんとヨルタンの首都アンマンのホテルで会った映画監督四ノ宮浩さん(四)は「止めることができず、ご両親に申し訳ない」と悔い、何度も「残念だ」と繰り返した。

四ノ宮さんが「イラクを自分の目で見たい」という香田さんと出会ったのは十月二十日。「今は素人が行ける状態じゃない。やめたほうがいい」と止めた。だが、香田さんは聞き入れなかった。「『行けば何とかなる』と思っていたようだ。そ

「体張って止めていれば…」

大分合同新聞
2004/11/1

直前に会った映画監督

れだけ好奇心が強い若者だった」

もう一度説得しようとしたが、香田さんは「じゃあ行きます」と言っただけで、イラク行きのバスに乗り込んだ。表情には緊張感がにじんでいたという。

自身もイラクの住民の生活を撮影したいと考えていた。香田さんの気持ちがかかるだけに、強く引き留められなかった。

「彼はイラク戦争を自分の目で見て、耳で聞いて、体で感じて、平和ということを考えてたかったのだろう。そのことをお母さんに伝えたい。彼の思いは多くの若い人たちにも通じると思う」。四ノ宮さんは自分に言い聞かせるように語った。